

9月14日

島 剛

ピアノ・ソナタと演奏家

I. モーツァルトと演奏家

イ：内田光子：彼女の演奏は極めて明確な細密画を見ているような感じがします。

ある意味知的合理的で一部の隙も無い完璧な演奏と感じます。ですから敢えて言えば BGM には適さない正面から聞く音楽です。詳細を目の前に見せているようです。聞くものとして正面に見据えて聞く必要を感じます。

ロ：マリア・ジャアン・ピリス

私がお好んで聞く演奏家です。モーツァルト以外バッツ、シューベルトなど手持があります。この演奏家の良さは余り感傷的にならず作品と少し距離感がある理知的なスタイルです。ある意味冷たい表現とは思いませんが感性よりも理性的。凜として佇まいです。

ハ：アリシア・デラ・ローチャ

一般的に音楽的感性の表現として喜怒哀楽、知情意の表現が多いですが少しばかりこれらの表現とは違い「思いやりの優しい豊かな愛情表現」と言って良いような他の演奏表現には見られない優しさが感じます。俗な表現ですが「優しいお祖母ちゃんが孫娘に慈愛に満ちた演奏」を表現しているようです。

C D :Piano Sonata, No11, K331[トルコ行進曲]

以上